

ナチシダ	<i>Pteris wallichiana</i> J.Agardh	絶滅危惧Ⅱ類
		イノモトソウ科
選定理由	岐阜県では生育地、個体数共に少なく存続の基盤が脆弱である。	写真(荻山恒弘)
形態の特徴	夏緑性のやや大型になるシダ植物。根茎は短く斜上し鳥足状でほぼ五角形。孢子嚢群は葉縁に沿って着く。小羽軸の両側に1列の網目状の脈があるが他の葉脈は遊離する。	
生態的特徴	やや明るい林下に生育している。	 
分布状況	県南西部の限られた場所に見られる。県内の生育地は北限に近いと思われる。	
減少要因	一部の生育地では光条件の悪化が要因と思われる。	
保全対策	生育地の森林の適度な管理と林道等整備の際には配慮が必要である。	
特記事項	シカの食害にあうことが少ないため、全国的に増えている。	
参考文献	岩槻邦男. 1992. 日本の野生植物. シダ. P. 139. 平凡社. 東京. 倉田悟・中池敏之(編). 1997. 日本のシダ植物図鑑. 8. P.17. 東京大学出版会. 東京.	

文責: 荻山恒弘